

れいわ ねんど あらかわ かいかん へいわ かん ほん  
令和6年度 荒川さつき会館にある平和に関する本

しょうがっこうていがくねん ちゅうがくねん ち  
小学校低学年～中学年向け

トットちゃんの15つぶのだいず

げんあん くらやなぎ てつこ ぶん かしわば さちこ  
原案：黒柳 徹子 文：柏葉 幸子

トットちゃんは雨の日が好き。  
普段は外にいる飼犬のロッキ  
ーと、家族みんながあたたく  
て明るい部屋にいるから。でも、  
戦争が始まって、生活は一変。  
パパはいなくなって、食べものはどんどんなくなって  
いき、ついにトットちゃんの1日の食べものは大豆が  
15粒だけに…。



いつかの約束 1945 作：山本 悦子

小学生のみくとゆきなは、町なかで泣いているお  
ばあちゃんに出会う。心配して声をかけた2人に、  
「おばあちゃんじゃないもん！」「あたしは、関根  
すず。九さい！」と言うおばあちゃん。子どもの  
体と、おばあちゃんの体が入れかわったのでは？  
と思ったゆきなたちは、すずの本当の体を探すた  
め、町を歩き回る。休憩で寄ったみくの家のでら  
ンダから、町全体を見わたしたすずは、突然「ど  
うして、こんなに町がきれいなの。」「戦争はどう  
なったの？」とつぶやく。すずは、どうして急に  
戦争の話をしたのだろう。



カピバラがやってきた 作：アルフレド・ソデルグット



ニワトリたちは、食べ物がたっぷりあって、安全で気持ちのいい川で暮らしていた。

ところがそこにカピバラたちがやってくる。  
カピバラたちが家に帰れない理由を知った  
ニワトリたちは、「ここにいるならきまりを  
まもって」と言う。だって、野生動物のカピ  
バラは、何をするか分からないから。しかし、  
ある出来事をきっかけに、ニワトリとカピバ  
ラの関係は少しずつ変わり始める。

しょうがっこうちゅうがくねん こうがくねん ち  
小学校中学年～高学年向け

どうして戦争しちゃいけないの？

著者：ダニー・ネフセタイ

ダニーさんはイスラエルで生まれ、3年間イスラエル  
空軍に所属したのち、来日。現在は埼玉県で家具を作る  
仕事をしながら、反戦を訴える講演を各地で行ってい  
る。そんな彼が、日本に住むイスラエル人として、自分  
の国で起きている戦争について教えてくれる。  
戦争はニュースで目にすることはあるけど、遠い国の  
話じゃないの？そう感じる人もいるかもしれない。  
でも決して、日本も他人事ではない。どうして戦争しち  
やいけないのか、ダニーさんと一緒に考えてみよう。



おすすめ！

ぼくはうそをついた 作：西村 すぐり

広島に住む小学5年生のリョウタは、原爆で亡くなっ  
た祖父の兄ミノルのことと、祖父の原爆体験を聞いた。  
それまで、リョウタは戦争を遠い昔の出来事のようにしか感じていなかったが、改めて1人で原爆ド  
ームを訪れて原爆投下前後のミノルに思いを馳せる。

一方、6年生のレイは、夏になると原爆で  
亡くなった息子を探して町をさまよう  
曾祖母タツに胸を痛め、タツのつらい思  
いを軽くしてあげたいと思っていた。  
ある日、タツがいなくなったと聞き、リョ  
ウタはレイと一緒に彼女を探す…。



池上彰の君と考える 戦争のない未来

著者：池上 彰



ジャーナリストとして活躍中の池上  
彰が、中高生向けに書き下ろしたノ  
ンフィクション。戦争をなくすために  
は、戦争がどういうものかを知る必要  
があるとし、「戦争とはなにか」とい  
った基本的なことから、過去にヨーロ  
ッパや日本で起きた戦争の理由やそ  
の結果を解説してくれる。  
戦争のない平和な世の中にするため  
に、私たちにできることは何か。

これらの本は、荒川区教育委員会事務局 教育センターの協力により選定しました。